

1 施設の平等利用が確保されること。

- 「他地域・多世代交流の場」・「自然体験など教育の場」としての機能を充実・強化し、サービスの質の向上と運営の効率化を目指します。
- 共同体を構成する「株式会社三勢」と「NPO 法人ひとつづくり JAPAN ネットワーク」が各々の専門性を活かし管理運営を行ない、「安心と安全」を提供します。
- 高齢者や子ども、身体に障がいがある方などを含め、あらゆる利用者が公平かつ平等に施設を利用していただけるように様々な取り組みを行います。
- 公平性、平等性を確保しながら施設運営を行うために、職員研修を実施します。
- 必要な関連法令遵守を徹底します。情報公開に積極的に取り組むなど、開かれた施設運営によって利用の公平性・平等性の確保に努めます。
- インターネット予約システムを導入し、24時間いつでも予約を行うことが可能となり、予約が公平に行われ、透明性を提供することで、利用者の公平性・平等性を確保します。
- 当該施設の運営にあたって、施設の平等性が確保できているかについて、アンケート調査（施設利用者、LINE 会員等）で検証します。

2 施設の効用が最大限に発揮されること。

- 施設の特性を活かし、サービス向上や地域振興等につながる自主事業を実施します。移住・定住促進にともなうコテージ有効活用事業（I ターン・U ターン事業）など、ツーリズムを取り入れた活動を通してオフシーズンの利用活性化、人的交流にともなう地域活性化、さらには、唐津市（七山）の経済活性化に貢献します。
- 利用者の意見・提案等の改善を図るために、ニーズ把握・モニタリングを実施します。
- 自社ホームページ、「公民館だより」（地元誌）、SNS（Facebook 等）、関係団体ホームページ、インターネット予約システム等、利用促進のための広報活動を様々な形で実施します。

3 管理に係る経費の縮減が図られること。

- 「株式会社三勢」で行えると判断した業務は自社で業務遂行し、委託費を縮減します。
- エコ推進の観点から、室内の設定温度の適正化等について適切にご案内します。
- 日常の機能点検を充実させ、空調設備の負荷を軽減し電気代等削減します。また、設備機器が重大な故障や修理を要さないようにします。
- 再生紙、裏紙の使用・ペーパーレス（電子メール等での通信）を徹底します。
- 施設内の清掃・換気、利用者が快適に過ごせる環境づくり等、「省資源・省エネルギー化」に努め、環境負荷の低減を図ります。

4 管理を行う物的、人的能力を有していること。

- 共同体を構成する2者の特徴・経験豊富な実績・経験・知識ネットワーク・マネジメントなどを十分に活かし、従来のような施設貸出・維持管理に止まってきた受動的施設から、施設のもつ機能やそこで働く職員の能力を十分に活用した能動的施設への転換を目指します。
- 個人情報保護の取組み等に継続的な改善・向上に努め、共同体コンプライアンス行動規範に基づき、個人情報を適切に保護します。
- 社内外で「接遇マナー」・「安全管理」・「応急救護」・「人権教育」等について様々な研修を実施し、地域社会に貢献できる社会人としての総合的なスキルアップを目指します。